



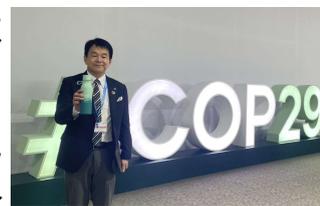
清水はやと ニュースレター

KI-ZU-NA

さいたま市長  
清水はやと  
令和6年11月号

日本一の政令指定都市さいたま市をつくろう

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。今回は気候変動の国際会議COP29に参加した報告です。



1日目となる11月11日、現地到着後、会場へ直行し自治体を代表するLGMAの記者会見に臨みました。会見では、カリフォルニア州天然資源局長官やブラジル・ニテロイ市長らとともに、G7各国の都市連合であるUrban7 (U7) のメンバーとして、脱炭素社会の実現に向けて世界各国の地方都市が果たす役割の重要性について情報発信しました。



2日目の12日、午前は調印式をこなし、午後からジャパンパビリオンにおいて開催された一般社団法人イクレイ日本とIGES主催のセミナー「マルチレベル気候行動を通じた循環共生社会の実現に向けた取り組み」に参加しました。続いて、さいたま市主催のE-KIZUNAハイレベル会議(E-KIZUNA high-level talks)をLGMAパビリオンにおいて開催し、パネルディスカッションには、さいたま市長の私がモデレーターを務め、ICLEIジャパンの竹本理事長、フランスのオータン市長、アメリカ合衆国のブライスビル市長、イタリアのアレッツォ市長、イギリス政府エネルギー安全保障ネッゼロ省副局長に参加いただき、それぞれの取組について発表しました。

3日目の13日は大韓民国・光明市長らとは、急遽の面会が実現。韓国の気候変動に関する取り組みを伺うとともに、さいたま市の環境政策等を紹介し、カーボンニュートラルに積極的に取り組んでいる日本の自治体との連携や情報共有の必要性を確認しました。その後、日本企業のブースで脱炭素技術等を視察し、ジャパンパビリオンにおいて、環境省主催による「クリーン・シティ・パートナーシップ・プログラムセミナー」に参加し、クロージングとして、私から国境を超えた都市間連携の重要性について意見発表をしたところです。

ハードな日程の中でCOP29への参加でしたが、さいたま市主催の国際会議も成功裏に終わり、大変充実した滞在となりました。あらためて職員や関係機関の皆さんのご尽力に感謝します。

今回の国際会議を通じて得た知見や人間関係を、持続可能なさいたま市未来のため、都市間連携を発展させるために活用して参ります。

日本一地域の絆で結ばれたまち